

福祉への理解を広め就職を支援

7月21日、宮之城ひまわり館で、町社会福祉法人連絡会が主催する就職面談会と町が主催するさつまる・ふくしマルシェが行われました。面談会では、福祉事業所への就職を考えている高校生などの面談や、事業所で就労を希望する障がいがある方の面談が行われました。また、マルシェには6事業所が出店し、薩摩中央高校福祉科と出水中央高校医療福祉科も参加。体験コーナーの参加者は「普段できない体験で、介護の大変さを感じることができました」と話しました。



出水中央高校の学校紹介コーナー

薩摩中央高校の体験コーナー



視覚障害体験



段ボールベッド体験



車いす体験

宮之城中剣道部が県大会で優勝

8月5日、県中学校総合体育大会の女子団体で優勝した宮之城中学校剣道部が、原園修二教育長に優勝報告を行いました。感染予防対策を行いながら厳しい環境での稽古でしたが、努力を積み重ね、見事優勝を飾りました。主将で3年の栢山那奈さんは「試合できつい時でも笑顔で楽しめるよう気を引き締めて稽古を頑張り、チーム一丸となって九州大会に臨みます」と話しました。



左から引地美里さん、栢山さん、北原季乃さん、有川琴乃さん

木管三重奏 美しい音色で観客魅了

7月25日、宮之城文化センターでみやまふれあいコンサートが行われました。オーボエの広田智之さん、ファゴットの井上俊次さん、クラリネットの三界秀実さんが、大河ドラマ「西郷どん」のテーマ曲などを演奏し観客を魅了。鶴田小学校5年の上牧瀬梨央さんは「音色がとてもきれいでした。クラリネットの音の高さの調節は勉強になりました」と話しました。



左から広田さん、井上さん、三界さん

五日町公民会 災害に備えて訓練

7月17日、五日町公民会が防災訓練を行い、80人が参加しました。避難方法や防災備品を取り扱う訓練をしたほか、町の補助金で購入した非常食を参加者に配付し、防災意識の向上を図りました。五日町自主防災たすけあい隊の永田清信隊長は「多くの方が参加し、有意義な訓練となりました。災害時で重要なのは地域内の連携。毎月の見守り活動も続けて災害に備えたいです」と話しました。



担架を組み立てて人を運ぶ訓練

ナシの収穫が始まりました

7月27日、虎居地区にある果樹園で町ナシ振興会の収穫祭が行われました。参加者は早生品種の愛甘水^{あいかんすい}を収穫し、糖度が高くみずみずしいナシを試食しました。本町のナシは、幸水^{こうすい}、豊水^{ほうすい}、新高^{しんこう}、新興などが10月上旬頃まで収穫され、沿道の直売所や物産館で販売されます。観光農園ではナシ狩りも体験できますのでぜひご利用ください。

観光農園マップ▶



ハサミを入れなくても持ち上げることで収穫できます

虎居地区 黄色に輝くヒマワリ畑

8月7日、虎居地区の甫立公民館近くにヒマワリ畑が広がっていました。地域を明るくしたいと公民会が今年初めて企画したもので、甫立誠会長のほか地域住民3人が6月に種をまきました。この日は、町外から訪れた見物客が写真を撮っている姿も見られ、甫立会長は「花を見た人に喜んでもらいたいです。今年だけでなく来年も続けていこうと思います」と話しました。



緑の中に映える一面のヒマワリが見物客に元気を届けます



的を倒すまでの所要時間や規律、正確な動作を競います

消防技術を競う 紫尾柵野分団が優勝

7月31日、薩摩川内市で薩摩支部消防操法大会が行われました。消防団員の消火技術の向上や消防精神を養うことを目的とし、本町から6分団が出場。小型ポンプの部で紫尾柵野分団が優勝しました。指揮者を務めた吉永龍輔さんは「支えていただいた地域の皆様や家族に大変感謝しています。これまで培った技術や分団の絆を地域のために役立てていきたいと思います」と話しました。